

# 広告

## 映画ロケ地として

女優・高峰秀子と佐田啓二主演による灯台守の人生を描いた「喜びも悲しみも幾歳月」(1957年)のロケ地となった「石狩灯台」。赤と白に模様替えし厳冬の石狩浜に立つ姿は、子ども心にも誇らしく感じたものだった。▼八幡の洋裁学校は週に一度まちの映画館となった。市川右太衛門の早乙女水之介、片岡千恵藏の「ある時は…またある時は」の名台詞、大友柳太朗の丹下左膳などの娯楽映画全盛期にあつて松竹風の映画として大ヒットし、歌手・若山彰の美声に全国が酔いしれた。紅白歌合戦では我がまちを讃える歌とさえ思ったものだ。▼自虐的な郷土感「俺のまちは何も無いよ」と聞くことしばしば。現代、それさえ価値を有する多様性の求められる時代となった。「襟裳の春は何もない春です」地元が怒った時代は遠い話だ。▼今年2月から、石狩でロケを行った「碧のみち」。俳優陣の一人として石狩出身の波多野祐司くんが出演している。地元民は、何も無いけど、として温かな鍋などの差し入れを行い、地元フィルムコミッションなども裏方として頑張ってくれた。来年2月頃公開予定とのこと。その日の来ることが待たれる1年である。(市長)

■編集・発行／石狩市企画経済部秘書広報課 〒061-3292 北海道石狩市花川北6条1丁目30番地2 Tel.0133-72-3145 Fax.0133-74-5581  
 [HP] <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/> 【携帯電話用HP】 <http://www.city.ishikari.hokkaido.jp/mobile/> [メール] [hjsyokoh@city.ishikari.hokkaido.jp](mailto:hjsyokoh@city.ishikari.hokkaido.jp)  
 ■制作／(株)キューコーポレーション ■印刷・製本／(株)フayワード  
 ■配布問合せ／(有)エポット企画 ☎0133-73-5444 厚田区・浜益区は各支所へ 厚田 ☎78-2011 浜益 ☎79-2111